

まだ残暑はありますが、朝夕は涼しくなってきたので、気温の変化で体調を崩さないよう気をつけましょう。また、遠くへお出かけしたご家庭も多いと思います。生活リズムを少しずつ整えていきましょう。

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時の備えとして防災グッズの確認も大切ですが、この機会に家の中で子どもにとっての危険な物、危険な個所はないか点検をして、ご家庭内での事故やケガを未然に防げるように再確認してみてくださいはいかがでしょうか。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- 子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
(薬、洗剤、お酒、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など)
- 踏み台になる物はベランダに置かない。
- コンセントなどをいたずらできないようにする。
- 遊び食べに注意する。(食べ物が喉に詰まることがある)
- 浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する。



爪の伸びすぎに注意！！

伸びすぎた爪はケガや事故の原因になります。また、汚れやバイ菌が詰まりやすく病気の原因にもなります。

少なくとも一週間に一度はチェックし、切ってあげるようにしましょう。



風疹に注意！！

首都圏を中心に風疹患者が増加しているとの情報があります。

風疹は、MRワクチンの接種で予防できます。1～4歳は1回目、5歳児は2回目の接種を早めに済ませることをお勧めします。接種しましたら担任にお知らせください。

また、妊娠20週までに風疹に感染すると生まれてくる子が、目、耳、心臓などに障害を持つ先天性風疹症候群になってしまう可能性が高くなります。身近にいる妊娠中の方や家族を風疹から守るためにも家族みんなで予防に努めると効果的です。

風疹の主な症状

空気中の風疹ウイルスが鼻や口から入り、2～3週間の潜伏期間を経て、赤い発疹が顔から現れて前進へ広がります。耳の後ろや首の後ろのリンパ腺が腫れることもあります。

「三日ばしか」とも呼ばれるように、3日程で熱が下がり発疹もきれいに消えることが多いです。